

## G 7 環境大臣会合 パラレルセッション「都市の役割」(予定)

### 参加する都市及び国際機関の概要と取組

※各都市・機関の発表セッションは変更の可能性があります。

#### 第1セッション

##### テーマ 交通網の近代化とコンパクトかつ強靱なまちづくり

###### (1) 富山市：森 雅志市長

環境モデル都市・環境未来都市。高齢化や人口減少など、都市の直面する課題を解決するため、LRT(Light Rail Transit)をはじめ、コンパクトシティ化に向けて国内外を先導する取組は世界的にも認知されている。

###### (2) フィレンツェ市：ダリオ・ナルデッラ市長

イタリアの都市。交通システムに対して、特に自家用車の使用を削減する制度を導入し、近隣地域との交通網の接続、ITの有効活用・インフラ整備が進んでおり、周辺部と一体となった交通政策に取り組んでいる。

###### (3) バンクーバー市：グレゴール・ロバートソン市長

カナダの都市。「世界で最もグリーンな都市」を目指し、公共交通網や自転車専用道路の整備、市長自らが自転車で通勤するなど、街ぐるみで交通に関する取組を行っている。

###### (4) フランクフルト・アム・マイン市 ペーター・フェルトマン市長

ドイツの都市。「グリーン都市」構想を掲げ、市単独のエネルギー省を有し、欧州都市による気候アライアンスの設立メンバーでもある。2050年までに再生エネルギー100%を目指したコンパクトシティ化に向けて、建物や交通におけるエネルギー効率向上に積極的に取り組んでいる。

#### 第2セッション

##### テーマ 地域資源を活用した低炭素で強靱なエネルギー需給に係る取組

###### (1) 東松島市：阿部 秀保市長

環境未来都市。「防災タウン」構想を掲げ、自立分散型で強靱な低炭素型エネルギー供給システムの構築に取り組んでいる。

###### (2) ブリストル市：ジョージ・ファーガソン市長

イギリスの都市 (EU が招聘)。ヨーロッパグリーンキャピタル 2015 受賞。再生可能エネルギーの普及及び需要家対策を実施することで、エネルギー消費量の削減及び CO2 削減を実現するとともに、エネルギー需給両面からの取組を続けている。

###### (3) ヴィトリー・ル・フランソワ市：ジャン・ピエール・ブーケ市長

フランスの都市。電気だけでなく熱も含めた、様々な種類の再生可能エネルギーを現地の状況

に応じて普及させるとともに大手電力会社と協力して分散型エネルギーシステム導入の取組を進めている。

### 第3セッション

#### テーマ 都市の先進事例の共有と都市間連携の促進・国際機関の果たす役割

(1) 北九州市：北橋 健治市長

環境モデル都市・環境未来都市。アジア低炭素センターを核として、「北九州市モデル」である都市インフラの海外展開を実施。国際的な都市間ネットワークに参加しており、都市間連携で多くの経験を有する。

(2)地球環境ファシリティ(GEF)：石井菜穂子 CEO 兼議長

環境の側面から途上国における都市の取組を、先進国の都市の好事例を活かしながら、特に資金面からの支援を目指している。

(3)イクレイ-持続可能性をめざす自治体協議会(ICLEI)：ウォルフガング・トイブナー  
ヨーロッパ事務局長

1,000 以上の自治体が参加するネットワークにより、気候変動・持続可能性に関する取組をグローバルに発信し、活動レベルを高める挑戦を続けている。

(4)100 のレジリエント・シティ(100RC)：エリザベス・イー副会長

ロックフェラー財団の支援を受け活動。世界規模で都市間の交流を支援し、レジリエントな都市の取組を推進する国際ネットワーク。